

## 1 室内の安全対策 - 家具や戸棚は安全ですか

どんな丈夫な家に住んでいても、地震の時に家具が倒れたり、物が落ちるようでは安心できません。地震による人身事故で多いのが室内での負傷です。停電で暗かったり、慌てたりしているので思わぬところでけがをします。揺れがおさまっても、転倒した家具やガラス・食器の破片など室内には危険がいっぱいです。

そのため、家族が待避できるスペースを確保するなど安全な空間づくりに努めましょう。また、建物を建てる時は、家具等を固定できるよう、あらかじめ横木を取り付けておくと便利です。

### 1 転倒と落下防止を考えた家具の配置・収納空間づくり

- ・ 押入や納戸、ドレッサーなどの収納専用スペースを設け、室内の整理整頓に努めましょう。
- ・ 造り付けの家具、天井や左右の壁までいっばいの家具、開き戸より引き違いの家具、ガラス戸の少ない家具を選びましょう。
- ・ 家具を重ねたり、家具の上に不安定なものを置かないようにしましょう。

### 2 家具の転倒防止

- ・ 家具等の転倒を防ぐことは、ちょっとした対策でも効果があります。室内の家具や調度品などの安定具合をチェックし、事前対策を講じておきましょう。
- ・ タンス、本棚、戸棚などの背の高い家具類は、倒れないように金具等を用いて柱や横木に固定しましょう。
- ・ 様々な種類の金具を組み合わせて、壁・天井・床の状況に応じ固定しましょう。
- ・ 食器戸棚は、一般にガラス戸を使っていますが、棚板を固定するだけで、中の食器がガラスに当たって壊れたり、ガラス戸が割れることを防ぐのに効果があります。

#### 壁に固定する場合

##### 間柱、胴縁の見つけ方

金づち等で軽く壁を表からたたいて、音の変化で見極めます。

間柱と間柱の間に補強用のぬき板を取付けてこれに家具を固定します。

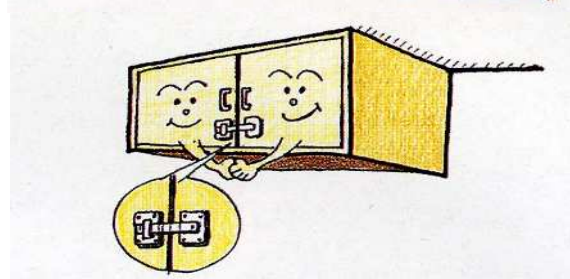
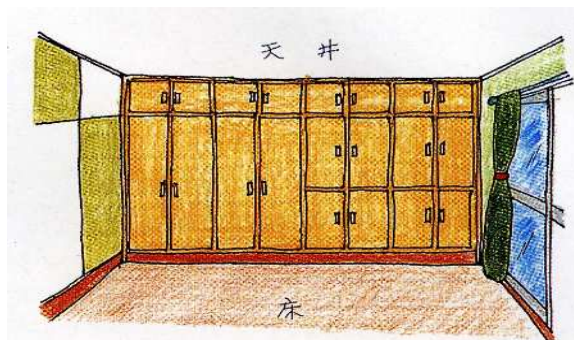
#### 2段重ねの家具を固定する場合

両側側面の継ぎ部分を補強金具で固定します。

- ・ 重い収納物はなるべく低い戸棚に入れ、栈をつけるなど、中の物が倒れないようにしましょう。

### 3 照明器具などの落下防止

- ・ 天井の下地材に、吊り金物をしっかりとめましょう。
- ・ 白熱灯や蛍光灯が緩んでいる場合もありますので、日頃から点検しておきましょう。
- ・ ピアノなど重いものは、洋間や丈夫な板床に置くようにしましょう。
- ・ 石油ストーブなどの火気器具類は、家具などが転倒してくるおそれのある場所を避けて使用しましょう。



#### 観音開き扉の固定方法

飛び出し防止のために絵の様な既製の金物を取り付けたり、紐で左右の把手をくくりつけるのも有効です。

